

平成19年10月1日

サキグロタマツメタの卵囊に関する情報

『サキグロの産卵本格化する！（桂島）』

水産研究開発センター

仙台地方振興事務所水産漁港部

本日、桂島の潮干狩り場で卵囊が大量に発見されました。あまり潮が引いていませんでしたが、採取数は118個(1290g :船上からの網すくい3名×20分間)でした。東名浜など他の漁場では透明度が低かったため卵囊は確認できませんでしたが、産卵が始まっている可能性が高いと思われる。

卵囊内では前回(9月21日)より発生が進んで既に幼生に发育しているものもありますが、産卵直後の受精卵～桑実胚が多く見られることから、現在でも産卵が盛んに行われていると思われます。

今後も産卵は続くと思いますので、孵出が始まる10月中旬までには駆除をするようにして下さい。本日のように十分干出しない場合でも、胴長を着用すればかなり効率的に駆除できますし、小型の船上からも玉網ですくえますので時機を逸さないよう注意して下さい。卵囊1個からは数百から数千個の稚貝が孵出し、直後からアサリの稚貝を捕食します。

採取場所	採取数	卵囊直径	幼生のステージ(割合%)					孵出済み
			受精卵	桑実胚	前期幼生	中期幼生	後期幼生	
桂島	118	5.2~9.8cm	55.0	35.0		10.0		

10月1日11時頃 桂島潮干狩り場
船上から採取(118個)